

患者さまへ

「経管栄養患者の排便コントロール ～便秘患者の苦痛を考えたケア～」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることができる場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を提示して適切な同意を得ること、それが困難な場合には、その情報を公開することが必要とされています。なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	経管栄養を行っている便秘患者
2 研究目的・方法	経管栄養を行っている便秘患者の排便コントロールで、下剤の使用量と、投与時間を見直すことで排便状況が改善され、下剤の追加投与や、座薬の使用回数を減らすことができ、患者の苦痛を最小限にすること。また、個別の排便コントロールを確立させることを目的とする。 (方法) 1. 下剤の量を個別に調節し、投与時間を眼前にする。 2. 下剤の効果が現れるタイミング、朝の経管栄養注入前にホットタオルで腹部温罨法を行う。 3. 排泄チェックシートから、1 ヶ月毎の下剤使用回数・滴数・座薬使用回数を調べ実施前後で比較する。 4. 温罨法を行ったときと行わなかったときの効果を比較する。
3 情報の利用拒否	同意いただいた後であっても、いつでも撤回できます。情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申し出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	量的研究
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 住所：兵庫県尼崎市東難波町5丁目19番16号 連絡先：06-6488-2922 研究責任者：河端 由佳理 安藤病院 3階病棟